

令和8年度 神奈川県立秦野曾屋高等学校 不祥事ゼロプログラム

神奈川県立秦野曾屋高等学校は、事故・不祥事の根絶を目指すとともに職員一人ひとりが教育公務員としての自覚と誇りを持って業務を推進することにより、県民に一層信頼される教育を推進していくために、不祥事ゼロプログラムを策定する。

1 実施責任者

神奈川県立秦野曾屋高等学校不祥事ゼロプログラムの実施責任者は校長とし、副校長及び教頭、総括教諭がこれを補佐する。

2 目標の設定及び行動計画の策定

職員は、「心豊かな生徒」「賢い生徒」「たくましい生徒」を育成するため、個々人の人権を尊重し、事故・不祥事ゼロに向け業務を遂行する。

(1) 法令遵守意識の向上

ア 目標

法令遵守意識の向上に努め、公務外非行を防止する。

イ 行動

各種の報道や職員啓発資料を共有し、神奈川県職員として自覚をもって行動する。

(2) わいせつ・セクハラ行為の防止

ア 目標

わいせつ・セクハラ行為のない学校、職場を実現する。

イ 行動

生徒の連絡先の収集は最小限にとどめ、ライン等SNSの手段は用いない。また、生徒の指導に際しては、時、場所、方法、言葉遣い、発言内容等に十分配慮し、組織的な対応を図る。

(3) 体罰・不適切な指導の防止

ア 目標

生徒の人権を尊重し、体罰・不適切な指導のない学校を実現する。

イ 行動

人権教育校内研修会を開催し、人権意識の向上や人権理解に努める。また、全生徒対象のアンケートを実施し、その結果に基づき適切な対応を行う。

(4) 入学者選抜、成績処理及び進路関係書類の作成及び取扱いに係る事故防止

ア 目標

入学者選抜、成績処理及び進路関係書類の作成及び取扱いに係る体制と手順を明確にし、事故を防止する。

イ 行動

入学者選抜業務、成績処理及び進路関係書類の作成等マニュアルに則った業務を徹底する。

(5) 個人情報等の管理、情報セキュリティ対策

ア 目標

個人情報等を適切に管理するとともに、情報セキュリティの日常的な管理と

事故防止を図る。

イ 行動

個人情報の収集、保管、持ち出しについて適正手続きの徹底を図る。

(6) 交通事故防止、酒酔い・酒気帯び運転防止、交通法規の遵守

ア 目標

生徒に交通安全教育を行う側としての自覚を持ち、自ら交通違反、交通事故をおこさない。

イ 行動

時間と気持ちに余裕を持った安全運転の励行をし、交通法規遵守を徹底する。

(7) 会計事務等の適正執行

ア 目標

私費会計基準を遵守し、適切で円滑な会計処理に努める。

イ 行動

適正な各帳票の作成と、会計処理の迅速化を図る。